

折に触れ 四字熟語

NO. 322 『九牛一毛』 きゅうぎゅう いちもう

< 意味 > 多くの中の、きわめてわずかな部分のたとえ。また、きわめて些細で取るに足りないことのたとえ。多くの牛に生えたたくさんの毛の中の本の一本の意から。

< 出典 > 『文選』司馬遷「任少卿じんしょうきやうに報ずるの書」

用 例 : 如斯このな下劣の匹夫ひつぷに何が出来る？オニヤーテが九牛一毛ほどの仕事も難しかろう。

＜内田魯庵・くれの廿八日＞

語 釈 : 「九牛」は多くの牛。「九」は数が多いことをいう。略して「九牛毛」ともいう。

一 言 : 今年の2月24日付けの goo 辞書四字熟語のランクで1位でした。この言葉の意味にあるような出来事・ニュースが何かあってそのことを反映しているのでしょうか。私には分かりません。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」